

報道関係者 各位

 げいのうかいびやくこじき  
**新作舞台「芸能開闢古事記」上演に向けて稽古スタート！！**

島根県民会館では市民参加型の創造事業として、来る3月1日(日)に「芸能開闢古事記」を上演いたします。本公演は「古事記」より「イザナギの冥界下り・天岩戸・八岐大蛇」の3場面を題材に、能楽師の安田登が脚本・演出を務め、深野神楽保存会(雲南市)との共作によって作り出す新作舞台です。また、公募により集まった松江市内の小学生15名もヒップホップダンスに挑戦し、出演します。能の様式を土台に、神楽、語り、ヒップホップダンス、ラップ、電子音楽など、伝統芸能からポップカルチャーまで、様々な芸能が混在したジャンルレスな舞台作品となります。

3月1日の上演に向けて、年明けから稽古がスタートし、今後、以下の通り稽古実施を予定しております。つきましては、報道関係者の皆様には、ぜひともご取材いただき、公演周知にご協力いただきたく存じます。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

## 【稽古スケジュール】

- 2/1(土)13～17時／サンライフ松江(松江市大庭町)／公募小学生ダンス稽古
- 2/2(日)10～15時／県民会館リハーサル室／公募小学生ダンス稽古  
同日 14～18時／県民会館中ホール／深野神楽稽古  
安田登(脚本・演出・出演)、ヲノサトル(楽曲制作・シンセサイザー演奏)、山下昇平(美術)参加
- 2/9(日)10～15時／県民会館多目的室／公募小学生ダンス稽古
- 2/16(日)10～15時／県民会館中ホール／公募小学生ダンス稽古
- 2/22(土)14～18時／田井交流センター(雲南市吉田町)／深野神楽稽古／安田登参加
- 2/24(月休)14～18時／県民会館中ホール／深野神楽保存会稽古  
安田登、ヲノサトル(予定)、公募小学生参加
- 2/29(土)終日リハーサル
- 3/1(日)公演日(14時開演)

## ■深野神楽保存会 初回稽古の様子(1月5日)

左：能装束を身に付ける深野神楽保存会の和泉僚さん(スサノオ役)／右：能の所作を指導中



## ■公募小学生 初回稽古の様子 (1月26日)

ダンス経験・舞台経験もばらばらな小学1年生から6年生までの15人で出演!



### 【脚本・演出・出演】

#### ■安田 登 (やすだ のぼる)

能楽師下掛宝生流ワキ方。国内外を問わず舞台上で活躍する傍ら、創作能や特別授業などのワークショップ、能を基本にした朗読や演劇の創作・演出等も手がける。著書に『異界を旅する能』『能—650年続いた仕掛けとは』ほか多数。『100分 de 名著』(NHK Eテレ)では平家物語の解説を務めた。

#### ■深野神楽保存会

大正前期に一旦姿を消し、昭和61年に新たに結成。以来、精力的に活動を続ける。アメリカジャパンウィーク参加、2回のタイ公演と、出雲文化を海外に紹介する役目も果たし、近年はジャズや朗読劇などの他ジャンルとのコラボレーションにも挑戦。平成15年に立ち上げた深野神楽こども教室の卒業生も加わり、会員数は21名を数える。

### 【ダンス振付・指導・出演】

#### ■実験道場 (ダンスパフォーマンスグループ/YouTuber)

芝居、ダンス、コメディに特化したエンターテインメントパフォーマンスチーム。紅白歌合戦振付&ダンサー出演や、ブレイクダンス世界記録保持者など実力派・行動派なメンバーが集結。ニューヨークブロードウェイでの単独公演、アジアジャパンエキスポ(タイ、マレーシア)のメインステージに出演など、世界的に活躍。カンボジア、ネパール、ガーナでは社会貢献活動として運動会を開催。

### 【公演情報】

公演名：伝統芸能発信公演「芸能開闢古事記」

公演日：2020年3月1日(日)14時00分開演

会場：島根県民会館中ホール

出演等：安田登、深野神楽保存会、ヲノサトル、山下昇平、奥津健太郎、玉川奈々福、いとうせいこう、実験道場、公募小学生 ほか

[第一部]イザナギの冥界下り／安田登一座による能の語りを用いた人形劇

[第二部]天岩戸／深野神楽保存会による神楽に安田登が演出。笙・太鼓・シンセサイザーの即興演奏。

[第三部]八岐大蛇／能の様式(謡や所作など)と神楽の融合。子どもたちのヒップホップダンス、ラップ(いとうせいこう)、語り(玉川奈々福)、電子音楽(ヲノサトル)など、様々なジャンルとのコラボレーション。